

## 看護ケア推進たより 18号

2018年5月

### 田中小百合看護部長 ご挨拶



平成30年度、診療・介護・障害福祉サービス等の同時改定がすでにスタートしました。

JCHO 大阪病院では、地域医療支援病院として医療機能強化と地域連携の質的・量的拡充、そして職員の就労環境改善の方針が出されています。看護部では、今まで以上に看護の質向上への取り組みと、地域の医療・看護・介護との連携を推進する取り組みを強化する方針です。そのためには、賢慮のリーダーシップを発揮できる

看護師の育成が急務であり、今年度もその計画を進めてまいります。《賢慮とは、個別具体の場において、その状況の本質を把握しつつ、同時に全体の善のために最良の行為を選び実践できるためのリーダーの智慧（野中郁次郎）》

また、就労環境の改善とともに、達成感や看護の醍醐味を感じられる組織にするべく、一昨年度より、副看護師長会ではセキュリティの強固な新病院での防災対策に取り組みました。そのメンバー36名が2年間の活動を、「患者や職員の安全を思い、事務職員をも巻き込み主体的に活動できたことは、有意義であり達成感を得た」と熱く語りました。主体的に活動することの楽しさを経験した副看護師長を中心に、その輪をさらに広げていきたいと思っております。今年度も、この項で、様々な活動を紹介させていただきたいと思っております。（看護部長 田中小百合）

### 「第18回 JCHO 大阪病院 ケア連携の会」開催報告

第18回ケア連携の会は、平成30年2月14日に地域施設の方々35名と当院職員39名計74名と多くの方が参加し、「病院から在宅へ。居宅訪問で深める在宅支援」をテーマに事例検討が行なわれました。複数回脳卒中を発症され、在宅で療養を継続する上での不安に着目し居宅訪問を実施した事例です。地域の多職種の方との意見交換を通し、サービスを追加するだけでなく、入っているサービスに関して導入した経緯を確認しながら見直しすること、退院前合同カンファレンスを行うことは退院直後からの継続看護に繋がること、サービス担当者会議は退院当日に行うケースが多いため、入院時に訪問看護師と情報交換を行うことなど、新たな視点に気づくことができました。ADLが変わらなくても、複数回脳卒中を繰り返し入院となることへの不安を汲み取り、入院早期から地域と連携をとることの重要性、また最適なサービスを再検討することの必要性について学ぶことができました。



（SCU看護師 門田早優理）



## 看護研究発表会 報告



2017（平成 29）年度の看護研究・実践報告発表会では6題の発表があり、‘努力賞’として野田亜由美さんが表彰されました。おめでとうございます！一貫して「明らかにしたいことは何か？」を考えながら取り組まれた様子が、発表に表れていました。日々の看護実践の中で生じた疑問に対して、‘看護の視点’を大切にしながら追究された、その努力が評価されました。

表彰された野田さんのように、抱いた疑問を看護の視点で追究できる専門職でありたいですね。  
（8階東・NICU 看護師長 中野美佳）

昨年度「眼内悪性リンパ腫に対し眼内化学療法を受ける患者の苦痛」について看護研究を行いました。紆余曲折あり自信を失いかける事もありましたが、関係する皆様方にご助力頂き、大阪府看護学会で無事発表することができました。今回取り組んだ経験は、患者さんだけでなく、自分のためにも良い経験となりました。またその中で感じ・学んだことは、自身の成長に繋がったと強く感じています。皆さんも是非、看護研究を頑張ってください。（11 西副看護師長 野田亜由美）



## 看護管理実践報告会 & 実践計画発表会



看護師長の中で、「認定看護管理者教育課程セカンドレベル」を修了した5名が報告、発表を行いました。認定看護管理者教育課程は、ファーストレベル、セカンドレベル及びサードレベルの3課程からなり、認定看護管理者の水準を均質にするために日本看護協会が定めています。

セカンドレベルの教育課程では、受講生全員が自施設における看護管理実践計画を立案し、研修終了後からそれを実践します。今回の報告会では、研修修了後3年以上の師長3名が実践報告を、2017年度修了生2名が計画を発表しました。実践報告では、実践の時期が新病院移転の時期と重なり、それに関連した課題への取り組みが2例ありました。計画発表では部署の特殊性に応じた内容で、具体的な取り組みが示され、効果が期待される内容でした。また、発表後のディスカッションも活発に行われ、管理行動の学びにつながる開催となりました。

（副看護部長 古田由美子）

実践報告者	テーマ
森本 富美子	眼科混合病棟の業務改善
長辻 玲子	新病院移転に伴う病床管理
今井 康乃	患者の安全・安心・安楽が確保できる新体制に向けての取り組み
実践計画発表者	テーマ
中野 美佳	安心・安全な産科病棟環境を確保するための 夜間応援体制構築への取り組み
藤原 千佳	緊急帝王切開術を24時間体制で迅速かつ確実に対応するための体制構築



## 平成 29 年度 特定行為研修報告～共通科目実習



共通科目の統合実習の目的は、①多様な臨床場面において当該特定行為を行うための知識・技術及び態度の基礎を身に付ける、②多様な臨床場面において、医師から手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行う為の基礎的な能力を身に付ける、です。

看護師が特定行為を行う場合に必要となる「医療安全学特論」「臨床推論」「フィジカルアセスメント特論」

「特定行為実践」4科目を統合して、平成30年3月2日から5日間実習を行いました。

以下のスケジュールに沿って、救急外来・内科外来・外科外来で畑中副院長・畑崎部長・荒川部長に指導医をして頂き実習を行い、その後は6事例の記録を行ないました。

### 【実習スケジュール】

	方法
1日目	医療安全管理者の業務に1日同行し、医療有害事象事例の分析を行ない、対策の立案、対策の実施、評価のプロセスを体験する。
2日目	模擬患者で医療面接と身体診察を行う。実際の患者で医療面接と身体診察を行う。
3～4日目	初診患者2事例、当日入院患者2事例の一連の診療プロセスの流れを体験する。
5日目	初診患者もしくは当日入院患者の一連の診療プロセスを実践する。

## 平成 30 年度



### 特定行為研修受講者に意気込みを聞いてみました！！

特定行為研修受講のお話を頂いたときは、正直動揺しました。しかし、副看護師長として3年目となりますが、知識不足・判断不足に日々勉強不足を感じていた矢先でのお話でした。今年受験生となった長男と目標は違いますが、共に切磋琢磨して頑張っていきたいです。(血液浄化センター副看護師長 小野雪子)



在宅ケア領域で特定行為研修の受講をします。特定行為研修を終えた先輩から、研修後医師の思考過程がよくわかるようになったとよく聞きます。アセスメントできる知識・技術を身に付けることで、チームとしての相互理解も深くなり、患者さんの重症化の予防に繋がれると考え受講を希望しました。この1年は自己学習で自分との闘いですが、現場に還元できるよう頑張りたいと思います！(10西病棟副看護師長 小井里香)



日々の業務に追われる中で、勉強できていないなあと感じていました。仕事をしながら学べる環境に魅力を感じ、今回特定行為研修を受講させていただくことになりました。仕事と学習の両立に不安は感じていますが、学び得たことを自部署で活かせるように頑張りたいと思います。(ICU看護師 田中万規子)





## 新メンバー紹介



4月より、附属看護専門学校より異動してきました。現在は、医療福祉相談室の退院支援業務の把握、入院支援の試行、地域との連携に関する会議の把握と準備・・・など、新しい業務を理解することで精一杯な状況にあります。入退院支援に関するスタッフの姿から学ぶことも多くあります。入退院支援体制の構築という責任の重さを実感するとともに、この大きな課題に楽しんで取り組み、患者様・ご家族に安心・納得して生活していただける支援が実践できるよう取り組んでいきたいと思っております。（医療福祉相談室 室長 三村麻紀子）



初めまして、4月より医療福祉相談室勤務となりました。入職してからずっと病棟勤務で、地域との連携の重要さは理解しておりましたが、知らないことも多くあり、私に務まるのかと不安な気持ちもありました。しかし、地域の方と交流させていただいたり、多職種と関わる中で新しく知ることが多く、とても新鮮な気持ちで働いています。病棟での経験を活かし、地域と患者様とをつなぐ役割としてこれから頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。（医療福祉相談室 吉田 真由子）



はじめまして。前病院では緩和ケアチーム専従看護師として、主治医や医療スタッフと共にケアを検討・実践して参りました。がん罹患は人生を揺るがす出来事です。がん医療の進歩・複雑化、多様な価値観から患者・家族は難しい意思決定を迫られるため継続的なサポートが必要です。しかし煩雑化する業務に看護師は十分な医療を提供できているのかと悩むことも少なくないです。患者・家族にとって最善のケアを提供するために、医学的判断だけでなく患者の自律性や周囲の状況など様々な視点で皆さまと検討し実践していけたらと考えています。（がん看護専門看護師 志方優子）



今年度のケア連携の会～事例検討～開催日

7月11日 10月10日 2月13日

みなさま、振るってご参加ください。

### 編集後記

昨年度は看護研究、管理者研修など積極的に取りくんできました。今回はその結果を掲載してみました。また特定行為研修は共通科目の実習が始まり、今後は区分別実習へと進んでいきます。4月からは新メンバーが加わり、昨年度に勝る活発な活動をしていきたいと思っております。皆様には紙面を通じて看護部の活動をご報告していきます。

（集中ケア認定看護師 中村明美）